

公明新聞 2021年08月07日付 6面

里弘一の両議員連名による
福岡県の糸島市議会公明
党は先ごろ、 笹栗純夫、並
月形祐一市長に提出した。

土砂災害対策
福岡・糸島市

「市住民を土砂災害から事前に守る緊急要望書」を月形祐一市長に提出した。

笹栗議員は、7月3日に静岡県熱海市伊豆山地区で起きた土石流災害に触れ、「今回の災害を教訓に対策を万全に整える必要がある」と主張。その上で、①県が定めた土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の現状把握②有事における住民への早めの避難指示やLINEのチャット機能などを活用した住民と市とのネットワーク構築——などを要望書に盛り込んだ。

月形市長は「レッドゾーンにおける盛り土や亀裂の有無などを注視したい。避難指示の発令基準も明確にしていく」と応じた。

©公明新聞